



平成28年度臨時総会開催のお知らせ

会員の皆様には、既にご案内しておりますが、平成28年度臨時総会を下記により開催いたしますので、ご出席をお願いします。

なお、ご出欠をFAXにて平成29年3月6日（月）までにご回報くださいますようお願いいたします。

記

- 日時：平成29年3月16日（木）13:00～16:00
- 場所：AP東京八重洲通り 11階 K, L, Mルーム
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目10番7号
KPP八重洲ビル
TEL 03-6228-8109
- 議案：第1号議案 一般社団法人日本養鶏協会役員選任会規 制定の件
第2号議案 平成28年度団体会員の会費に関する件

高病原性鳥インフルエンザの発生状況

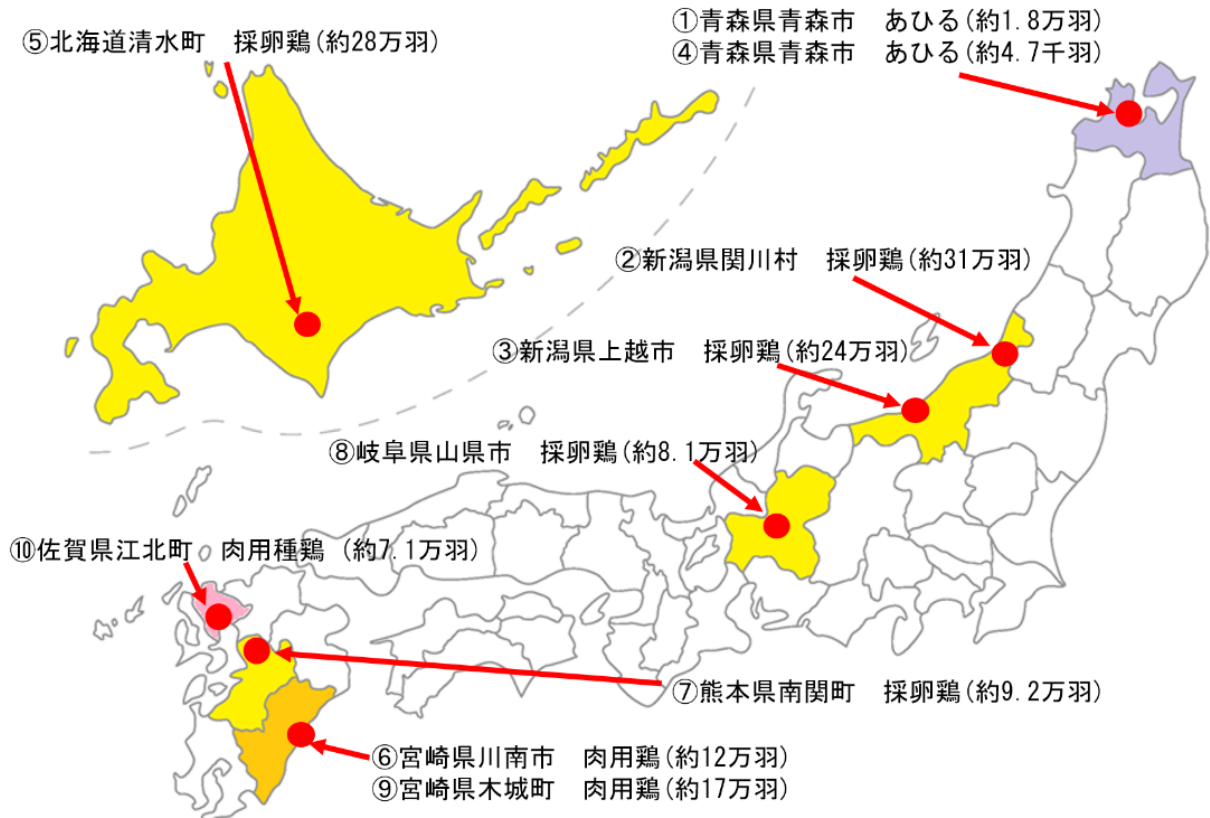
1. 国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

今期における高病原性鳥インフルエンザの発生は、平成28年11月28日に青森県において、家きんでは国内初となる高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されて以降、2月末現在までに7道県10戸の農場で高病原性鳥インフルエンザ（すべてH5N6亜型）が確認されています。

なお、本病の過去の発生事例では、3月にも多くの発生が見受けられております。

また、近隣諸国においては本病の発生は継続していることから、家きん飼養者の皆様方には、気を緩めることなく引き続き厳重な警戒をするとともに、異常家きんの早期発見に万全を期していただくようお願いいたします。

平成 28-29 年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生について



出典：農林水産省

2. 韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

韓国国内においては、平成 28 年 11 月以降、野鳥からの高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出及び家きん農場における高病原性鳥インフルエンザ (H5N6 亜型) の発生が拡大しており、家きんでの殺処分羽数は 3,337 万羽と過去最悪の被害となっています。

農林水産省が公表している韓国内の発生状況 (平成 29 年 2 月 26 日現在) は以下の通りとなっています。引き続きご注意をお願いします。

家きんでの確認件数：341 件 (あひる 135 件、鶏 197 件、うずら等 8 件、混合 1 件)

殺処分羽数：3,337 万羽



「米活用畜産物等ブランド化推進事業」公募開始のお知らせ

日鶏協ニュース1月号でご紹介した「米活用畜産物等ブランド化推進事業」につきまして、農林水産省より公募が開始されたとの連絡がありましたので、お知らせいたします。

【事業名】

「米活用畜産物等ブランド化推進事業」

- ・予算額 2,400万円（本事業に関する部分のみ）

【補助の内容】

- ・飼料米を給与した卵のブランド化を図るための以下活動への補助
 - (1) 検討会の開催 — 地域の関係者による検討会の開催
 - (2) 流通実態調査 — ブランド化を図るため必要な生産・流通実態調査
 - (3) 販路拡大・販売促進 — ポスター・リーフレット作成、フェア等への参加
- ・補助金額 — 1協議会あたり300万円を上限

【事業参加要件】

- ・市町村、食品流通・販売業者、消費者、学識経験者などと本事業を実施する協議会を立ち上げ、協議会として申請する必要があります。

【公募期間】

平成29年2月28日（火）～平成29年3月17日（金）17:00まで

- ・ http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisaku_tokatu/170228_2.html
<下線部をクリックすると農林水産省の該当ページが開きます>
指定された申請様式にご記入の上、農林水産省にご提出ください。
- ・審査等は3月中に実施し、事業開始は4月3日からとなります。

【問い合わせ先】

農林水産省 政策統括官付穀物課 中村課長補佐、田住係長

TEL: 03-3502-7950



農業総産出額

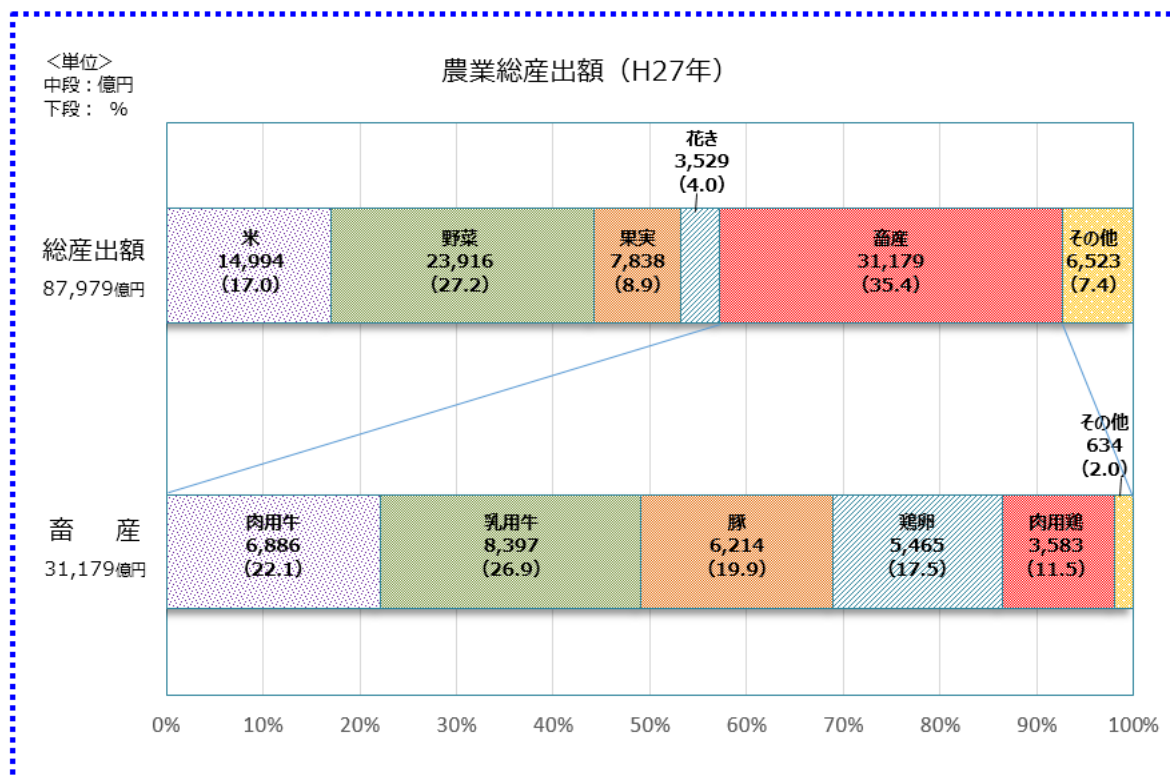
農林水産省より、平成27年農業総産出額が公表されたので、その概要を紹介します。

1. 農業総産出額

平成27年の農業総産出額は、8兆7,979億円で、前年に比べ5.2%（平成26年：8兆3,639億円）増加しています。その要因としては、畜産、野菜、米等の各部門において農畜産物価格の上昇により産出額が増加したことによります。

農業総産出額を部門別にみると、畜産が3兆1,179億円で農業総産出額の35.4%を占めており、次いで野菜の2兆3,916億円（同27.2%）、米が1兆4,994億円（同17.0%）果実7,838億円（同8.9%）となっています。

また、畜産部門の総産出額を畜種別にみると、乳用牛が8,397億円（うち生乳7,314億円）で畜産総産出額の26.9%を占めており、次いで肉用牛の6,886億円（同22.1%）、豚6,214億円（同19.9%）となっています。鶏卵は5,465億円（同17.5%）で、前年に比べ7%（平成26年：5,109億円）増となっています。



出典：農林水産省

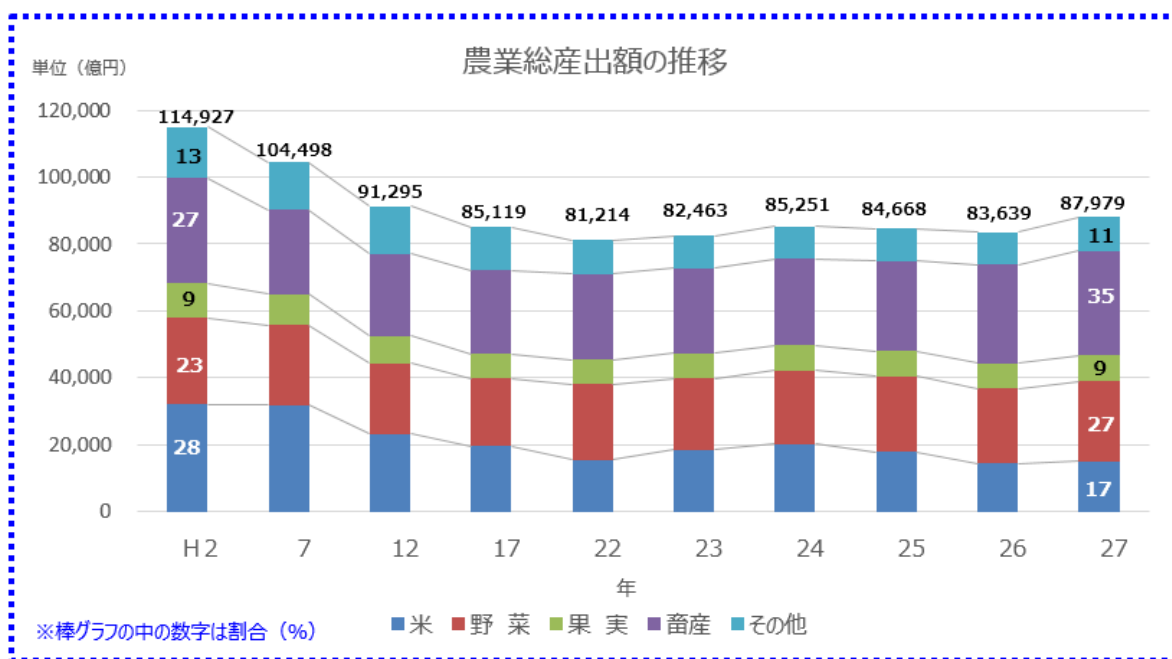


2. 農業総産出額の推移

我が国の農業総産出額は、昭和59年に11兆7千億円に達しましたが、その後は、多少の増減がみられるものの、減少傾向で推移しています。

平成27年の農業総産出額は、前年に比べて増加となりましたが、平成2年に比べて2兆7千億円（▲23%）減少しています。

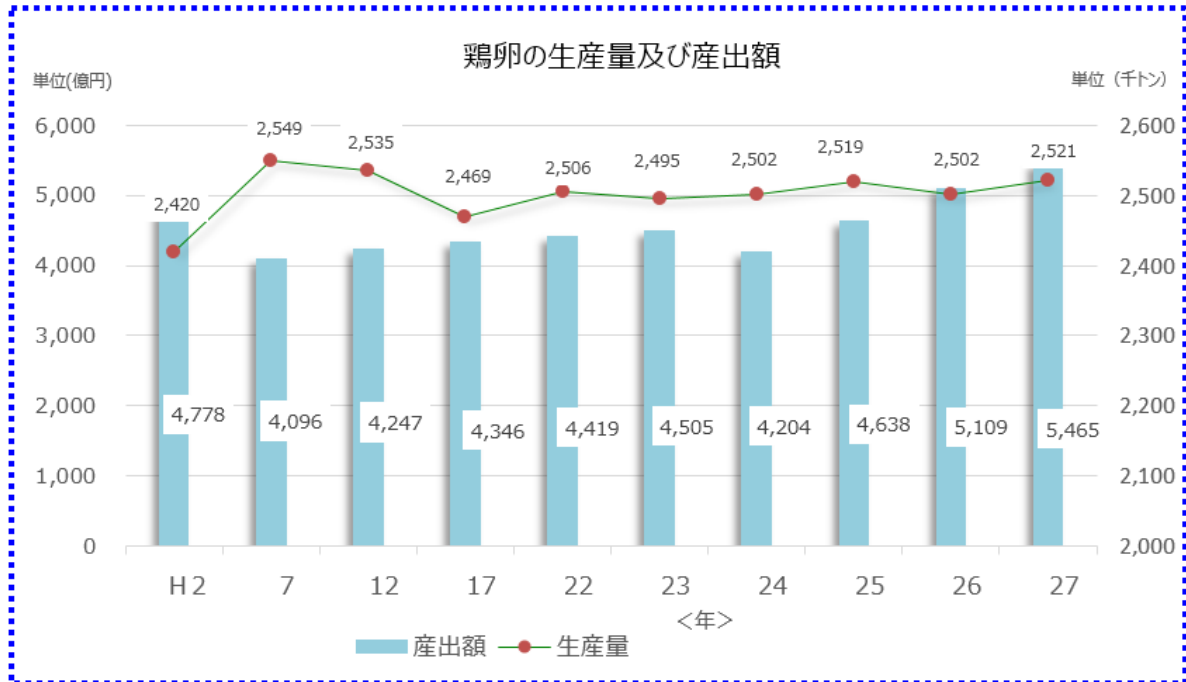
これを品目別にみると、米、野菜、果実、畜産ともに多少の増減がみられるものの減少傾向で推移しており、中でも米については1.7兆円（▲53%）と大きく減少しています。また、これらの品目について、平成27年における農業総産出額に占める割合を平成2年と比べると、果実はほぼ同水準（9%）となっていますが、野菜は23%から27%に上昇し、畜産は27%から35%まで上昇しています。一方、米については28%から17%まで11ポイント低下しています。



出典：農林水産省

3. 鶏卵の産出額

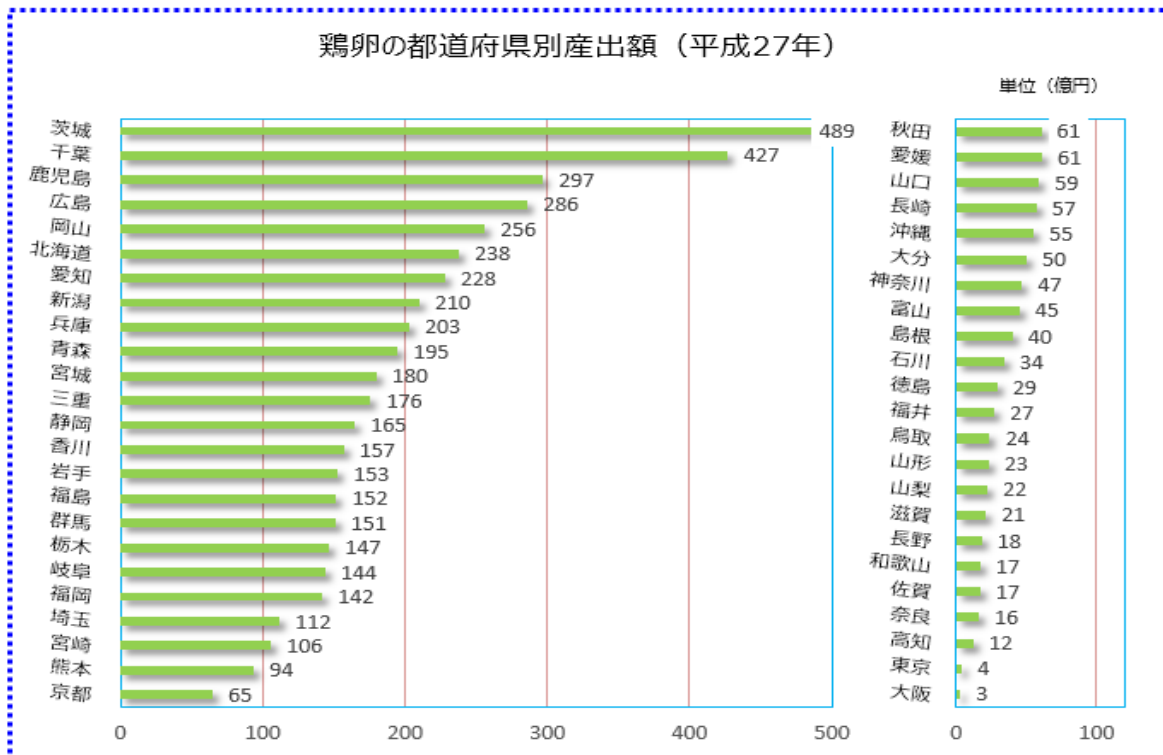
平成27年の鶏卵の産出額は、前年に比べ7%増の5,465億円で、年により若干の増減がみられるものの、平成24年以降は増加傾向で推移しています。また、平成2年と比べると687億円（14%）の増加となっており、農業総産出額に占める割合も4%から6%まで2ポイント上昇となっています。



出典：農林水産省

4. 鶏卵の都道府県別産出額

鶏卵の都道府県別産出額をみると、茨城県が 489 億円(構成比 8.9%)と最も高く、2位千葉県 427 億円、3位鹿児島県 297 億円、4位広島県 286 億円、5位岡山県 256 億円の順になっており、上位5県で生産量の32%を占めています。



出典：農林水産省



協会活動報告

[青字下線部クリックで、\(一社\)日本養鶏協会ホームページ内
該当事業のページが開きます](#)

1. 各事業の報告

(1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

① 鶏卵価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (トン/月当たり)

平成25年度	164,822
平成26年度	160,792
平成27年度	161,936
平成28年度	164,846

② 1月の標準取引価格 169.98 円/Kg

(補填価格) 17.118 円/kg

平成28年度補填基準価格 189 円/Kg

平成28年度安定基準価格 169 円/Kg

(2) 畜産物輸出特別支援事業 (鶏卵輸出部会)



台湾にて「日本のたまご」を紹介するTV番組が放送されました



台湾向け「日本のたまご」販売拡大を目指して、台湾よりTV局を招へいして「日本のたまご」に関する番組制作に協力しました。

【番組名】「日本 “育”到蛋」(中国語)

【番組名の意味】

「日本 “育”到蛋」という言葉には二つの意味があり、
一つは「日本でたまごと出会った」ともう一つは
「日本で育成しているたまご」という意味も含ませています。

【放送媒体、チャンネル、放送日時】

中天テレビ 36ch 総合チャンネル : 2月19(日) 10:00~11:00AM

中天テレビ C t i A s i a アジアチャンネル:

2月26(日) 10:00~11:00AM



日鶏協ニュース

平成29年2月号
一般社団法人 日本養鶏協会

【番組の主な出演者】

リン・ユーチュン（台湾の人気歌手）

友加里ちゃん（タマミちゃん、日本のたまごのキャラクター）

【番組内容】

台湾からやってきたリン君は日本で友加里ちゃん（タマミちゃん）と出会い、ともに散策に出かけ新鮮な日本のたまごを使用したスイーツや卵料理を味わいます。

その中で、「どうして日本のたまごが生で食べられるほど新鮮で安全なのか？」という興味を持ったリン君に、友加里ちゃん（タマミちゃん）はリン君と共にたまご生産の現場へ向かいます。

そこにはリン君もアッ！と驚くような近代的で清潔な養鶏場やGPセンターが待っていたのです。

番組では二人のレポートを通じて楽しく日本のたまごの安心・安全、おいしさを台湾のTV視聴者に伝えます。

この番組は当部会員の関係施設（東京、宮崎、鹿児島）で撮影されました。

下記のURLをクリックすると中天テレビ番組「日本育到蛋」をご覧いただけます。

<https://drive.google.com/file/d/OB698iRMFfO1XcEdXbnAtSkVhcDg/view>

動画は番組開始前10分間から終了後10分間の内容を含めています。

「日本育到蛋」の本編は左上にあるタイムコードの00:10:19から01:10:02までとなります。是非ご覧ください。

2. 今後の予定

3月7日(火)～3月10日(金)	千葉県幕張メッセ「FOODEX JAPAN 2017」
3月16日(木)	平成28年度臨時総会
3月22日(水)	第7回 鶏卵生産者経営安定対策事業委員会
3月22日(水)	第5回 審議委員会
3月28日(火)	互助事業 中央推進会議
3月30日(水)	第10回 正副会長会議
3月30日(水)	第12回 理事会
3月30日(水)	鶏卵輸出部会 第5回 理事会





日鶏協ニュース

平成29年2月号
一般社団法人 日本養鶏協会

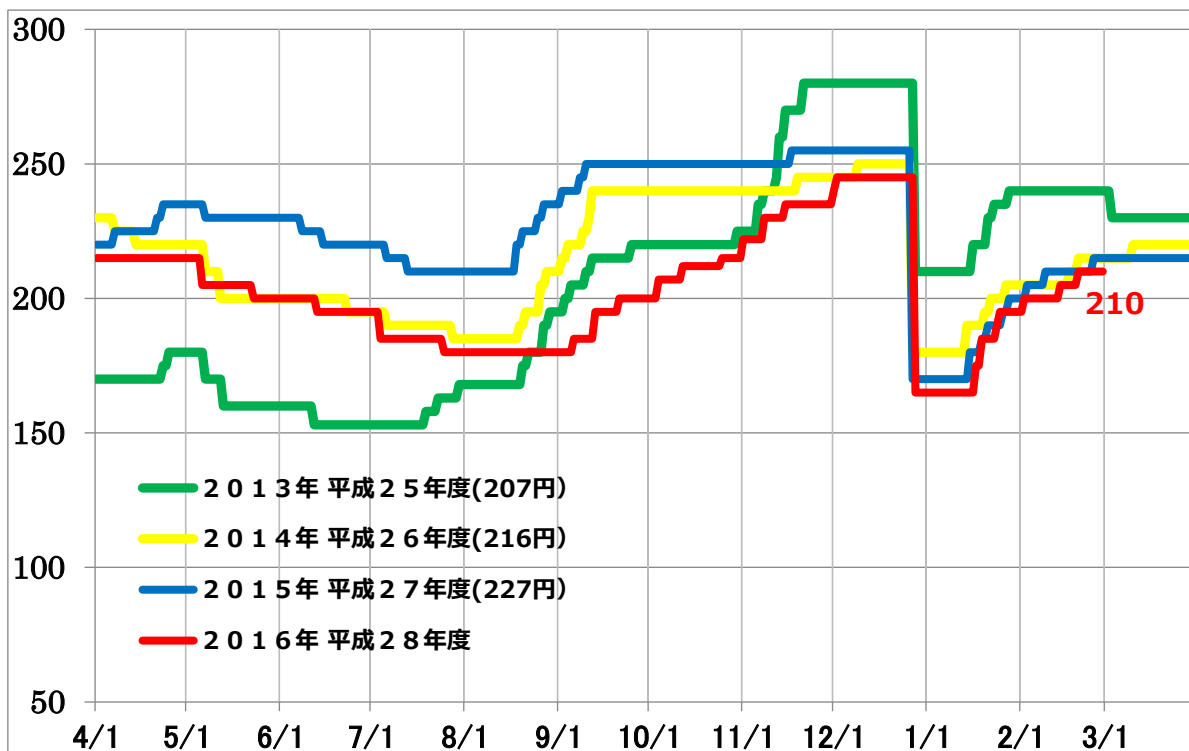
統計データ

【相場動向】 過去10年間の1月相場<Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成20年	135	182	109
平成21年	149	198	119
平成22年	151	203	119
平成23年	184	218	164
平成24年	149	203	114
平成25年	171	208	154
平成26年	224	258	204
平成27年	192	223	174
平成28年	182	218	164
平成29年	179	213	159
平均値	172	212	148

平成29年1月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、平均値179円・高値213円・安値159円と、平成26年度以降で最も安い相場になりました。

【鶏卵相場推移 2013年～2016年 会計年度 東京全農Mサイズ 円/Kg】



平成28年度の鶏卵相場は、平成29年に入り、過去4年で最低価格の165円まで大きく値を下げてスタートしましたが、その後、上がり始め2月下旬には210円まで値を上げています。過去4年では回復が遅く最も低い水準で推移しています。



【鶏卵関係主要計数】平成28年12月までの1年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	成鶏用		一人当たり		東京全農M	
			数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	本年	前年
28年 1月	8,317	97.8%	448	96.9%	833	108.9%	182	192
2月	8,604	104.0%	470	104.6%	845	103.2%	209	209
3月	9,238	99.7%	494	102.9%	865	101.6%	215	219
4月	8,779	104.4%	486	101.4%	890	106.1%	215	227
5月	9,398	104.6%	464	103.2%	889	103.8%	204	230
6月	9,228	101.6%	463	101.9%	867	108.0%	197	223
7月	8,532	96.6%	438	94.8%	864	105.7%	184	213
8月	8,471	112.9%	454	106.9%	811	100.8%	180	219
9月	9,184	108.8%	446	97.9%	847	105.5%	192	247
10月	9,140	103.1%	464	96.9%	908	106.6%	211	250
11月	8,837	103.7%	478	103.7%	875	104.0%	231	252
12月	9,213	101.6%	524	100.5%	909	106.9%	244	245
1年間小計	106,941	103.2%	5,629	101.0%	10,403	105.1%	205	227

- ・雛餌付羽数は、8月以降、前年を上回って推移しており、12月も前年に比べ1.6%の増加となっています。この結果、年間の出荷羽数は前年比3.2%増の107百万羽となり、3年連続して前年を上回っています。
- ・配合飼料出荷量は、前年比100.5%と前年並みとなり、年間でも前年並みとなっています。
- ・12月の鶏卵家計消費量は、前年に比べ6.9%増の909グラムと、年間を通じて最も多い消費量となっています。この結果、平成28年の1人当たりの年間消費量は前年比5.1%増の10.4kgとなっています。
- ・これらの統計からすると、供給サイドでの大きな落ち込みも無く、家計消費などの需要も堅調な展開となっています。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2016年3月2日

編集・発行責任者：小田上浩史(info@jpa.or.jp)

